

## METHOD FOR ACQUIRING SITE BROWSING STATE INFORMATION, FILE USED FOR THE METHOD, AND SYSTEM FOR COLLECTING SITE BROWSING STATE INFORMATION

Patent Number: JP2003015996  
Publication date: 2003-01-17  
Inventor(s): IMAYA KENICHI  
Applicant(s): PLATFORM4E.COM INC  
Requested Patent:  JP2003015996  
Application Number: JP20010201434 20010702  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F13/00; G06F17/60  
EC Classification:  
Equivalents:

---

### Abstract

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a practical method and system capable of collecting and accumulating information with respect to a browsing state of individual sites by users, thereby enabling analysis of effect of advertisement on a network more easily and in detail.

**SOLUTION:** When a link button to a page with a target site 2 is clicked in a browsing person's terminal 3 on the Internet 1, a connection request is sent to a particularly arranged control server 4. The control server 4 extracts the information for specifying the browsing person's terminal 3 of a transmission source and the information for specifying the page of the target site 2, and transmits and displays the information in the browsing person's terminal 3 after having acquired the file displaying the page. The extracted information is sent to a browsing state DBS 5 and stored in a browsing state DBF51 every browsing person's terminal. When the connection request is transmitted from the browsing person's terminal 3, a medium ID, which is the information for specifying a link original site 6 or a mail news 7, etc., is also transmitted and extracted by the control server 4 to be saved in the browsing state DBF51.

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-15996

(P2003-15996A)

(43)公開日 平成15年1月17日(2003.1.17)

(51) Int.Cl. 7 譲別記号  
 G 0 6 F 13/00 5 4 0  
 17/60 1 3 2  
 1 7 2  
 3 2 6

F I テ-マコト(参考)  
G 0 6 F 13/00 5 4 0 R  
17/60 1 3 2  
1 7 2  
3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数 7 O.L. (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2001-201434(P2001-201434)

(71) 出國人 501074386

(22)出願日 平成13年7月2日(2001.7.2)

株式会社プラットフォーム・フォー・イ  
ー・ドットコム  
東京都渋谷区恵比寿1-24-16 カルチ  
恵比寿303

(72) 発明者 今矢 寧一  
東京都渋谷区恵比寿一丁目24番16号株式会  
社プラットフォーム・フォー・イー・ドツ  
トコム内

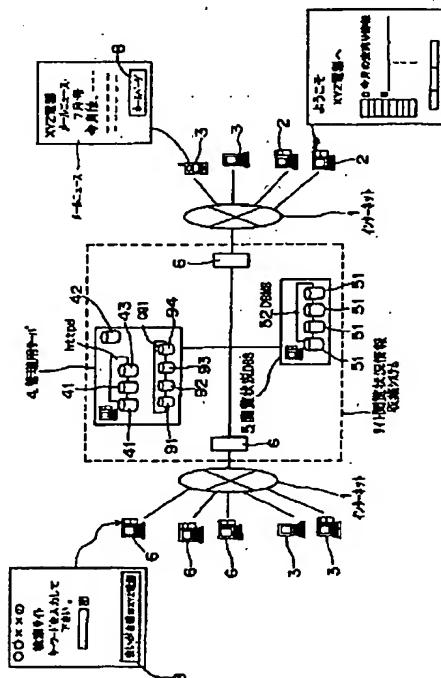
(74) 代理人 100097548  
弁理士 保立 浩一

(54) 【発明の名称】 サイト閲覧状況情報収集方法、この方法に用いられるファイル、及び、サイト閲覧状況情報収集システム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザーによる個々のサイトの閲覧状況に関する情報を収集・蓄積することが可能な実用的な方法及びシステムを提供し、ネットワーク上の広告の効果の分析等がより詳細に簡単に行えるようにする。

【解決手段】 インターネット1上の閲覧者端末3において、対象サイト2のあるページへのリンクボタンがクリックされた際、接続要求は、別に設けられた管理用サーバ4に送られる。管理用サーバ4は、送信元の閲覧者端末3を特定する情報及び対象サイト2のページを特定する情報を抽出し、そのページを表示するファイルを取得した後、閲覧者端末3に送信して表示させる。抽出された情報は、閲覧状況DBS5に送られて閲覧状況DBF51に閲覧者端末毎に保存される。閲覧者端末3から接続要求が送信される際、リンク元サイト6又はメールニュース7等を特定する情報である媒体IDも送信され、管理用サーバ4で抽出されて閲覧状況DBF51に保存される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを経由した閲覧者端末からの要求に従ってネットワーク上のサイト内の各ページが閲覧された際の閲覧状況の情報を閲覧者端末毎に収集するサイト閲覧状況情報収集方法であって、前記閲覧状況の情報を収集する対象のサイトである対象サイトとは別のサイト又は前記閲覧者端末に配信されるファイルに、対象サイトのあるページへのリンクを表示したリンクボタンを設けるリンクボタン貼付ステップと、前記リンクボタンがクリックされた際、前記対象サイトのあるページを特定する情報を送信しながら、対象サイトとは別に設けられた管理用サーバに閲覧者端末を接続させる接続要求を送信する送信ステップと、前記接続要求が送信された際、管理用サーバにおいて、前記接続要求の送信元である前記閲覧者端末を特定する情報及び前記対象サイトのあるページを特定する情報を抽出する抽出ステップと、前記管理用サーバにおいて、前記対象サイトのあるページを特定する情報に従い、そのページを表示するファイルを取得した後、そのファイルを前記閲覧者端末に送信して表示させる表示ステップと、前記抽出された情報を閲覧者端末毎にデータベース化して保存するデータベース化ステップとから成ることを特徴とするサイト閲覧状況情報収集方法。

【請求項2】 前記送信ステップは、前記対象サイトのあるページを特定する情報に加え、前記別のサイト又は前記閲覧者端末に配信されるファイルを特定する情報である媒体IDが前記管理用サーバに送信されるステップであり、前記抽出ステップは、前記閲覧者端末を特定する情報及び前記対象サイトを特定する情報に加え、この媒体IDを抽出するステップであり、前記データベース化ステップは、前記閲覧状況の情報にこの媒体IDを付して保存するステップであることを特徴とする請求項1記載のサイト閲覧状況情報収集方法。

【請求項3】 前記閲覧者端末に配信されるファイルは、電子メールであることを特徴とする請求項1又は2記載のサイト閲覧状況情報収集方法。

【請求項4】 請求項1乃至3のいずれかの方法に用いられるファイルであって、前記別のサイトを表示するものであるとともに前記クリックボタンが貼り付けられているか、又は、前記閲覧者端末に配信されるものであるとともに前記クリックボタンが貼り付けられていることを特徴とするファイル。

【請求項5】 請求項1乃至3のいずれかの方法に用いられるファイルであって、前記閲覧者端末に配信されるものであるとともに前記クリックボタンが貼り付けられており、電子メールであることを特徴とするファイル。

【請求項6】 ネットワークを経由した閲覧者端末からの要求に従ってネットワーク上のサイト内の各ページが

閲覧された際の閲覧状況の情報を閲覧者端末毎に収集するサイト閲覧状況情報収集システムであって、前記閲覧状況の情報を収集する対象のサイトである対象サイトとは別に設けられた管理用サーバと、サイト閲覧状況の情報をデータベース化して保存したデータベース手段とから成っており、前記管理用サーバは、閲覧状況情報収集用のプログラムを備えており、このプログラムは、対象サイトのあるページへのリンクを表示したリンクボタンが閲覧者端末においてクリックされた際、その閲覧者端末からの接続要求を、そのページを特定する情報をともに受信し、接続要求があった閲覧者端末を特定する情報と、そのページを特定する情報を抽出し、そのページを特定する情報に従い、そのページを表示するファイルを取得した後、そのファイルを前記閲覧者端末に送信して表示させ、前記抽出された情報を前記データベース手段に送って閲覧者端末毎にデータベース化して保存させるものであることを特徴とするサイト閲覧状況情報収集システム。

【請求項7】 前記別のサイト又は前記閲覧者端末に送信されるファイルを特定する情報である媒体IDが前記管理用サーバに送信されるようになっており、前記プログラムは、前記対象サイトのあるページを特定する情報に加え、この媒体IDを抽出するものであり、前記データベース手段は、前記閲覧状況の情報を媒体IDを付して保存するものであることを特徴とする請求項6記載のサイト閲覧状況情報収集システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本願の発明は、インターネット等のネットワーク上のサイトの閲覧状況に関する情報を収集する方法及びシステムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 TCP/IPをベースにしたインターネットは、コンピュータ同士のコミュニケーションツールとしてもはや社会インフラの一つになりつつある。また、携帯電話やPDA(Personal Data Assistant)のような携帯端末についても、インターネット経由の電子メール送受信やコンテンツ配信等、様々な用途で盛んに利用されている。このようなインターネット社会を支えている重要な要素の一つは、インターネットによる広告である。httpによりHTMLファイルを送信してクライアント上のブラウザによって閲覧させることは、広告手段としてのインターネットの基本的な要素であり、多くの会社が自社の会社概要や商品を紹介したウェブサイトを設けている。

【0003】 このようなインターネットを利用した広告は、インターネットをこのように爆発的に普及させることに重要な役割を果たしてきた。インターネットを利用

したサービスには、有料のものと無料のものとがある。有料サイトの場合、予め会員になってもらい、クレジットカードにより料金を徴収する場合が多い。しかしながら、セキュリティが確保されているとはいえ、インターネットを介してクレジットカード番号等の個人情報を送信することのためらいから、有料サイトの利用がなかなか進まないことが多い。一方、無料サイトは、サイトの利用は無料とし、そのサイトを表示するページに貼られた広告により利益を得るようにしている。広告付きの無料サイトが、昨今のインターネットの隆盛をもたらしたといつても過言ではない。

【0004】また、バナー広告の手法も、インターネット上の広告を普及させた重要な要素である。一つのウェブサイト上で表示できる広告の数には限りがある。あるウェブサイト上に、他の広告用サイトにリンクするボタンを貼つておけば、多くの広告ページを有機的に関連づけることができ、広告情報を大量、且つ、系統的に提供することが可能となる。多くの無料サイトは、バナー広告の収入で経営的には成り立っており、バナー広告を主とする広告ビジネスは、インターネット社会を支える不可欠の要素となっている。

#### 【0005】

【発明が解決しようとする課題】このようなインターネット上の広告に対するニーズを背景として、インターネット上の広告を仲介する広告仲介ビジネスも、非常な勢いで伸びてきていたが、このところ、その成長にも鈍化が見られる。この一つの原因是、ウェブサイト上に表示される広告やバナー広告のリンクボタンの掲載の広告効果について、広告主がやや懐疑的になっている点である。このため、多くのウェブサイトにバナー広告を設けている広告主では、その広告を個別に評価し、広告効果の高いサイトを選ぶようにすることが広まりつつある。

【0006】このような広告効果の評価を行うものとしては、米国特許第5, 948, 061号等に開示されたものが知られている。この方法は、Cookieを利用るものであり、ブラウザが生成するCookieからユーザーの情報を取り出し、それをデータベース化するものである。しかしながら、この方法では、Cookieに対応していないブラウザや携帯電話等からのアクセスの場合、広告効果を評価することができない。また、Cookieから取り出される情報は限られたものであって、広告効果を詳細に分析するには不充分な場合がある。さらに、Cookieの利用は、個人情報の保護の観点から好ましくない場合もある。本願の発明は、かかる課題を解決するためになされたものであり、ユーザーによる個々のサイトの閲覧状況に関する情報を収集・蓄積することが可能な実用的な方法及びシステムを提供し、ネットワーク上の広告の効果の分析等がより詳細に簡単に行えるようにする技術的意義がある。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本願の請求項1記載の発明は、ネットワークを経由した閲覧者端末からの要求に従ってネットワーク上のサイト内の各ページが閲覧された際の閲覧状況の情報を閲覧者端末毎に収集するサイト閲覧状況情報収集方法であって、前記閲覧状況の情報を収集する対象のサイトである対象サイトとは別のサイト又は前記閲覧者端末に配信されるファイルに、対象サイトのあるページへのリンクを表示したリンクボタンを設けるリンクボタン貼付ステップと、前記リンクボタンがクリックされた際、前記対象サイトのあるページを特定する情報を送信しながら、対象サイトとは別に設けられた管理用サーバに閲覧者端末を接続させる接続要求を送信する送信ステップと、前記接続要求が送信された際、管理用サーバにおいて、前記接続要求の送信元である前記閲覧者端末を特定する情報及び前記対象サイトのあるページを特定する情報を抽出する抽出ステップと、前記管理用サーバにおいて、前記対象サイトのあるページを特定する情報に従い、そのページを表示するファイルを取得した後、そのファイルを前記閲覧者端末に送信して表示させる表示ステップと、前記抽出された情報を閲覧者端末毎にデータベース化して保存するデータベース化ステップとから成るという構成を有する。また、上記課題を解決するため、請求項2記載の発明は、前記請求項1の構成において、前記送信ステップは、前記対象サイトのあるページを特定する情報に加え、前記別のサイト又は前記閲覧者端末に配信されるファイルを特定する情報である媒体IDが前記管理用サーバに送信されるステップであり、前記抽出ステップは、前記閲覧者端末を特定する情報及び前記対象サイトを特定する情報を加え、この媒体IDを抽出するステップであり、前記データベース化ステップは、前記閲覧状況の情報にこの媒体IDを付して保存するステップであるという構成を有する。また、上記課題を解決するため、請求項3記載の発明は、前記請求項1又は2の構成において、前記閲覧者端末に配信されるファイルは、電子メールであるという構成を有する。また、上記課題を解決するため、請求項4記載の発明は、請求項1乃至3のいずれかの方法に用いられるファイルであって、前記別のサイトを表示するものであるとともに前記クリックボタンが貼り付けられているか、又は、前記閲覧者端末に配信されるものであるとともに前記クリックボタンが貼り付けられているという構成を有する。また、上記課題を解決するため、請求項5記載の発明は、請求項1乃至3のいずれかの方法に用いられるファイルであって、前記閲覧者端末に配信されるものであるとともに前記クリックボタンが貼り付けられており、電子メールであるという構成を有する。また、上記課題を解決するため、請求項6記載の発明は、ネットワークを経由した閲覧者端末からの要求に従ってネットワーク上のサ

イト内の各ページが閲覧された際の閲覧状況の情報を閲覧者端末毎に収集するサイト閲覧状況情報収集システムであって、前記閲覧状況の情報を収集する対象のサイトである対象サイトとは別に設けられた管理用サーバと、サイト閲覧状況の情報をデータベース化して保存したデータベース手段とから成っており、前記管理用サーバは、閲覧状況情報収集用のプログラムを備えており、このプログラムは、対象サイトのあるページへのリンクを表示したリンクボタンが閲覧者端末においてクリックされた際、その閲覧者端末からの接続要求を、そのページを特定する情報とともに受信し、接続要求があった閲覧者端末を特定する情報と、そのページを特定する情報を抽出し、そのページを特定する情報に従い、そのページを表示するファイルを取得した後、そのファイルを前記閲覧者端末に送信して表示させ、前記抽出された情報を前記データベース手段に送って閲覧者端末毎にデータベース化して保存させるものであるという構成を有する。また、上記課題を解決するため、請求項7記載の発明は、前記別のサイト又は前記閲覧者端末に送信されるファイルを特定する情報である媒体IDが前記管理用サーバに送信されるようになっており、前記プログラムは、前記対象サイトのあるページを特定する情報に加え、この媒体IDを抽出するものであり、前記データベース手段は、前記閲覧状況の情報を媒体IDを付して保存するものであるという構成を有する。

#### 【0008】

【発明の実施の形態】以下、本願発明の実施の形態（以下、実施形態）について説明する。図1は、本願発明の実施形態に係るサイト閲覧状況情報収集システムの概略構成を示す図である。図1に示すシステムは、インターネット1上のウェップサイト2の閲覧状況を調査してマーケティング等に利用するためのものである。具体的には、ブラウザを備えたパソコンやインターネット1に対応した携帯電話、PDA(Personal Data Assistant)等の情報端末（以下、閲覧者端末）3と各ウェップサイト2との間で、インターネット1を介してバナー広告の仲介役となるものである。そして、このシステムは、インターネット1上の各ウェップサイト2内の各ページの閲覧状況の情報を閲覧者端末3毎に収集するシステムとなっている。

【0009】リンクボタンやURL表示をクリックすると、該当するウェップサイト2のトップページが閲覧者端末3に送られて表示されるが、この際、該当するウェップサイト2のサーバが閲覧者端末3に直接リンクするのではなく、本システムを経由してリンクするようになっている。本システムは、リンクの際、どの閲覧者端末3からの要求であるかを特定したり、閲覧者がそのウェップサイト内でどのページを閲覧したかを調べてデータを蓄積したりするようになっている。

【0010】さらに具体的に説明すると、図1に示すシ

ステムは、収集対象である各ウェップサイト2とは別に設けられた管理用サーバ4と、サイト閲覧状況の情報をデータベース化して保存するデータベース手段とから成っている。尚、ウェップサイト2とは、そのようなサイトを提供するWWWサーバ（ウェップサーバ）を意味する。データベース手段は、具体的には、サイト閲覧状況情報をデータベース化したファイルである閲覧状況DBF(Database File)51と、閲覧状況DBF51を管理するDBMS(Database Management System)52とから成るデータベースサーバ（以下、閲覧状況DBS）5である。管理用サーバ4と、閲覧状況DBS5とは、ファイアーウォールやルータ等の経路制御装置6を介してインターネット1に接続されている。

【0011】管理用サーバ4自体も、ウェップサーバとして機能するようになっており、周知のOS上で稼働するウェップサーバソフトがインストールされている。ウェップサーバソフトとしては、Linux系ではApache、UNIX系ではサンマイクロシステムズ社のSun WebServer、WindowsNT系ではマイクロソフト社のIIS(Internet Information Server)IISが使用できる。これらのサーバソフトは、HTMLファイル41の送信や転送のためのhttpd(hypertext transfer daemon)プログラムを含んでいる。また、管理用サーバ4は、DNSサーバソフト42も備えており、DNS(Domain Name System)サーバとしても機能するようになっている。また、管理用サーバ4は、本システムを動作させるために作られたバナー仲介プログラム91を備えている。バナー仲介プログラム91は、ウェップサーバからの要求により起動する一種のCGI(Common Gateway Interface)プログラムであり、Javaその他の言語で記述されている。

【0012】図1及び図2を用いて、本実施形態のサイト閲覧状況情報収集方法についてさらに詳しく説明する。図2は、図1に示す管理用コンピュータにインストールされたバナー仲介プログラム91の概略を示すフローチャートである。

【0013】図1に示す閲覧者端末3には、メールニュース7が電子メールにて配信される。メールニュース7には、本システムにより閲覧状況が調査される対象であるウェップサイト（以下、対象サイト）2へのリンクボタン8（又はURL表示）が設けられている。また、対象サイト2へのリンクボタン8は、図1に示す別のウェップサイト6のページにも貼られている。この別のウェップサイト（以下、リンク元サイト）6は、通常、Yahooのような検索サイトであったり、利用者の多いプロバイダのサイトであったり、他の人気の高いホームページであったりする。

【0014】このようなメールニュース7やリンク元サイト6に貼られたリンクボタン8によって実行されるスクリプトは、対象サイト2のページに直接リンクするも

のではなく、本システムの管理用サーバ4にリンクするものとなっている。具体的に説明すると、例えば対象サイト2が「XYZ電器」という名称の電器製品の量販店の広告サイトであり、そのURLがxyzdenki.comであったとする。メールニュース7やリンク元サイト6には、「安いが自慢のXYZ電器」のような表示のリンクボタン8が設けられているが、そこに記述されているスクリプトは、xyzdenki.comにリンクするものではなく、本システムの管理用サーバ4にリンクするものとなっている。

【0015】さらに具体的に説明すると、リンクボタン8には、

[http://xyzdenki.banner.platform4e.com/\\_ZN\\_fc1/index.htm](http://xyzdenki.banner.platform4e.com/_ZN_fc1/index.htm)

というコンテキストを含むスクリプトが記述されている。このコンテキストのうち、xyzdenki.banner.platform4e.comは、本システムの管理用サーバ4のURLである。スクリプトは、リンクボタン8がクリックされると、xyzdenki.banner.platform4e.com上にあるバナー仲介プログラム91（後述）が実行されるよう記述されている。

【0016】また、上記コンテキストにおいて、\_ZN\_fc1/は、パス名の形で表現されているが、実は、このリンクボタン8が貼り付けられた媒体を特定するID（以下、媒体ID）となっている。ここで言っている媒体とは、広告媒体の意味であり、そのリンクボタン8が貼り付けられた上記リンク元サイト6やメールニュース7等を指している。図1に示すように、リンクボタン8は、異なる複数の媒体に貼り付けられている。尚、上記リンクボタンに記述されるURLのうち、platform4e.comの部分は自由に設定することが可能であり、対象サイトを運営する会社のドメイン名等に変更する場合がある。

【0017】リンクボタン8のリンクによって起動するバナー仲介プログラム91は、banner.cgiのような名前のCGI（Common Gateway Interface）プログラムである。バナー仲介プログラム91が起動すると、図2に示すように、接続要求をしてきた閲覧者端末3について、最初の接続要求であるか、2回目以降の接続要求であるかを判断する。具体的には、接続要求をしてきた閲覧者端末3のIPアドレス（送信元IPアドレス）、をTCP/IPのIPヘッダから取り出す。また、ドメイン名及びパス名のからホスト名(xyzdenki)及び媒体ID(\_ZN\_fc1)を取り出す。

【0018】一方、閲覧状況DBS5には、送信元IPアドレスと、本システムによってページ閲覧状況が調査される閲覧者としてのID（閲覧者ID）とを対応させたDBF（閲覧者IDDBF）が設けられている。バナー仲介プログラム91は、送信元IPアドレスとホスト名とによってSQL文を作成して閲覧状況DBS5に送り、閲覧者IDDBFを検索してレコードがあるかどうか

かを調べる。レコードが無い場合、新規の閲覧者であると判断し、新たに閲覧者IDを付与して、閲覧者IDDBFに新たなレコードを追加する。レコードがあった場合、閲覧者IDを読み出す。付与された又は読み出された閲覧者IDは、メモリ変数に一時的に記憶される。

【0019】閲覧状況DBS5は、ホスト名に対応した正規のドメイン名を登録したDBF（以下、正規ドメイン名DBF）を有している。バナー仲介プログラム91は、ホスト名を閲覧状況DBS5に送って正規ドメイン名DBFを検索させ、xyzdenkiに対応した正規ドメイン名(xyzdenki.com)を取得する。そして、正規ドメイン名をDNSサーバに送り、IPアドレスを取得する。そして、バナー仲介プログラム91は、xyzdenki.comの指定されたページのファイル(index.htm)を取得した後、これを閲覧者端末3に送って表示させる。それとともに、閲覧者IDと、正規ドメイン名(xyzdenki.com)及び閲覧ページ名(index.htm)のデータを閲覧状況DBS5に送り、閲覧者ID毎に設けられている閲覧状況DBFに日時等のデータとともに記録する。

【0020】詳細な図示及び説明は省略するが、xyzdenki.comのトップページ(index.htm)には、幾つかのページがリンクしている。例えば、家電製品ページ(kaden.htm)、AV製品ページ(av.htm)、パソコンページ(pasoco.htm)、携帯電話ページ(keitai.htm)等である。各ページにリンクするリンクボタンに記述されたスクリプトは、相対パスで記述されているため、トップページが表示された閲覧者端末3においてリンクボタンがクリックされると、xyzdenki.banner.platform4e.com上でファイルを探してくることになる。

【0021】トップページにリンクした他のページへのリンクボタンがクリックされると、バナー仲介プログラム91は、図2に示すように、同様にコンテキストからホスト名を取り出して、DNSサーバにIPアドレスを取得する。そして、指定された閲覧ページ名に従って対象サイト2からファイルを取得し、閲覧者端末3に送って表示させる。この際、閲覧者ID、正規ドメイン名、閲覧ページ名のデータを閲覧状況DBS5に送って同様に記録する。閲覧者端末3と管理用サーバ4との接続が維持されている間は上記手順を繰り返し、接続が切断された場合にはループから抜け出るとともに、閲覧者IDなどの情報はメモリ変数から除去される。尚、上記説明では、最初にトップページにリンクした後、サイト内の他のページに跳ぶように説明されているが、これは必須の条件ではない。トップページ以外のサイト内のページに最初にリンクする場合もある。

【0022】次に、上記のように収集されたサイト閲覧状況情報の分析のための構成について、以下に説明する。図1に示すように、本実施形態のシステムは、情報分析用のプログラム群92、93、94を有している。

【0023】情報分析用のプログラム群の一つ92は、

対象サイト2内の各ページの閲覧状況を集計するものである。このプログラム（以下、ページ毎集計プログラム）92は、特定の対象サイト2内における各ページの所定期間内の閲覧の回数を集計するものである。具体的には、対象サイト2を特定する情報である正規ドメイン名及び集計期間を検索キーにして閲覧状況DBFを検索し、ヒット件数を閲覧ページ名毎に集計するものである。集計により、対象サイト2内でどのページが人気なのか等を知ることができる。プログラムの詳細は、容易に作成できるので、説明を割愛する。図3に、ページ毎集計プログラム92により集計された結果の一例を示す。

【0024】また、情報分析用のプログラム群の一つ93は、媒体毎の広告効果を測定するものである。このプログラム（以下、広告効果測定プログラム）93は、特定の対象サイト2についての所定の期間内における閲覧状況をリンク元毎に集計するものである。具体的には、対象サイト2を特定する情報である正規ドメイン名及び集計期間を検索キーにして閲覧状況DBFを検索し、ヒット件数を媒体ID毎に集計するプログラムである。例えば、三つのリンク元サイトA, B, Cにリンクボタン8が貼られていた場合、それら三つのリンク元サイトA, B, Cに個別に媒体IDが付与されるから、サイト毎にそれを経由してどの程度多くのアクセスがあったかを知ることができる。この結果、それらのリンク元サイトA, B, Cにリンクボタン8を貼ることの効果（広告効果）を測定することができ、リンク元サイトA, B, Cに支払う広告料との関連で、妥当かどうかを評価することができる。この広告効果測定プログラム93の詳細も、容易に作成できるので、説明を割愛する。図4に、広告効果測定プログラム93により集計された結果の一例を示す。

【0025】また、情報分析用のプログラム群の一つ94は、メールニュース7に対するレスポンスの比率を測定するものとなっている。このプログラム（以下、メールレスポンス率測定プログラム）94は、特定の対象サイト2について、所定の期間内におけるメールニュース7からのアクセス数をメールニュース7の配信数に対する比率として算出するものである。具体的には、メールニュース7の配信数を入力すると、メールレスポンス率測定プログラム94は、正規ドメイン名、集計期間及びメールニュース7を特定する媒体IDを検索キーにして閲覧状況DBFを検索し、ヒット件数の合計を求め、配信数に対するヒット件数の比率を求めるようになっている。これにより、例えば7月号のメールニュース7から何回のアクセスがあったのか等のデータを得ることができる。

【0026】次に、本実施形態のシステムは、管理用サーバ4は、広告主会員ためのサイトを提供するHTMLファイル43を有している。広告主会員とは、対象サイ

ト2で広告をしている会社、組織、個人等（以下、単に会社）であってリンク元サイト6や電子メール等にリンクボタン8を貼っている会社である。広告主会員は、会員ID及びパスワードによって本システムの会員用サイトにアクセスし、上述した各プログラムを利用することができるようになっている。つまり、自社のサイトの正規ドメイン名を入力して、サイト内の各ページの閲覧状況を調べたり、出稿先の媒体（リンク元サイト6）毎に媒体の広告効果を分析したり、自社が配信したメールニュース7のレスポンス率を測定したりすることができるようになっている。尚、上述した各プログラムは、自社の正規ドメイン名を検索キーにした場合のみ実行できるようになっており、他社の情報は検索できないようになっている。また、各プログラムは、実行結果を必要に応じてグラフ化して表示することができるようになっている。

【0027】上記構成に係る本実施形態の方法及びシステムによれば、サイト内の閲覧状況の情報を閲覧者端末3毎に収集することができ、マーケティング等に好適に利用することができる。また、Cookieのような閲覧者端末3のファイル（ローカルファイル）にデータを記録することを必須の条件とするものではないので、Cookieに対応していないブラウザを使用する閲覧者端末3（携帯電話等）であっても実施可能である。従って、汎用性が極めて高い。

【0028】また、Cookieを使用するものではないので、プライバシー保護の点からも優れている。閲覧状況DBFに記録される情報は、特定のウェップサイトの閲覧履歴のみであり、氏名、職業、住所等の個人情報は記録されない。また、管理用サーバ4は、所定期間に閲覧状況DBFのデータをすべて削除するようになっている。従って、この点でもプライバシー保護の点で優れたものとなっている。尚、前述した閲覧者IDをCookieに記録しておき、閲覧者が一旦接続を切断した後に次にアクセスしてきたとき、Cookieから閲覧者IDを読み出すようにしても良い。この程度のCookieの利用であれば、特に問題は無いと考えられる。

【0029】尚、前述した実施形態において、メールニュース7に付与される媒体IDは、同一の内容のメールニュース7について同一のIDとなっているが、場合によっては、配信する先の閲覧者端末3毎に異なるIDを付与するようにしても良い。このようにすると、閲覧者端末3毎にメールニュース7からアクセスがあったかどうかを知ることができる。例えば、会員制のメールニュース7であって、事前に職業や年齢等を本人の了解を取って登録している場合、本システムによって閲覧状況を調査すると、どのような年齢層からレスポンスが多いか、どのような職業の会員のレスポンスが多いか等のデータを得ることができる。尚、リンクボタンは、電子メールの本文に貼られている場合と、添付ファイルに貼ら

れている場合がある。また、閲覧状況DBFに記録される情報としては、前述したものの他、当該ページを閲覧する直前に閲覧していたページの情報を記録するようにも良い。

【0030】尚、上記実施形態では、ネットワークはインターネットであったが、本願発明はこれに限られる訳ではなく、インターネットであっても良い。または、インターネット以外の外部ネットワーク（パソコン通信ネットワーク）でも良い。さらに、サイトとは、「端末によって閲覧可能な複数のページを端末に提供する場」程度の意味であり、インターネット上のウェブサイトに限定されるものではない。

【0031】

【発明の効果】以上説明した通り、本願の方法又はシステムによれば、サイト内の閲覧状況の情報を閲覧者端末毎に収集することができ、マーケティング等に好適に利用することができる。また、Cookieのようなローカルファイルにデータを記録することを必須の条件とするものではないので、汎用性が高く、またプライバシー保護の点でも優れたものとなっている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本願発明の実施形態に係るサイト閲覧状況情報

収集システムの概略構成を示す図である。

【図2】図1に示す管理用コンピュータにインストールされたバナー仲介プログラム91の概略を示すフローチャートである。

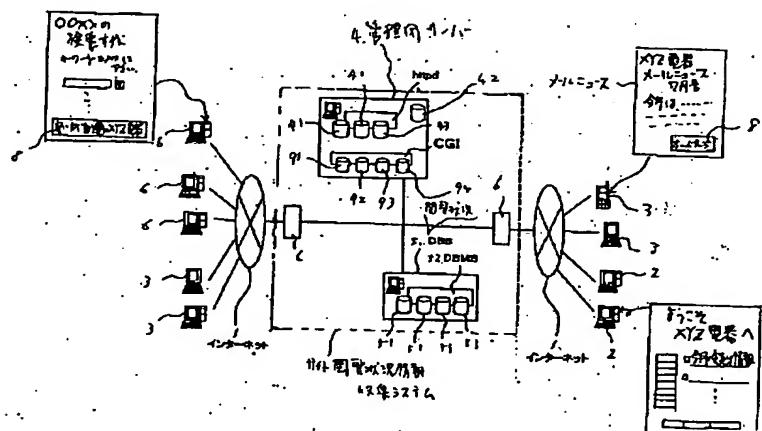
【図3】ページ毎集計プログラムにより集計された結果の一例を示す図である。

【図4】広告効果測定プログラムにより集計された結果の一例を示す図である。

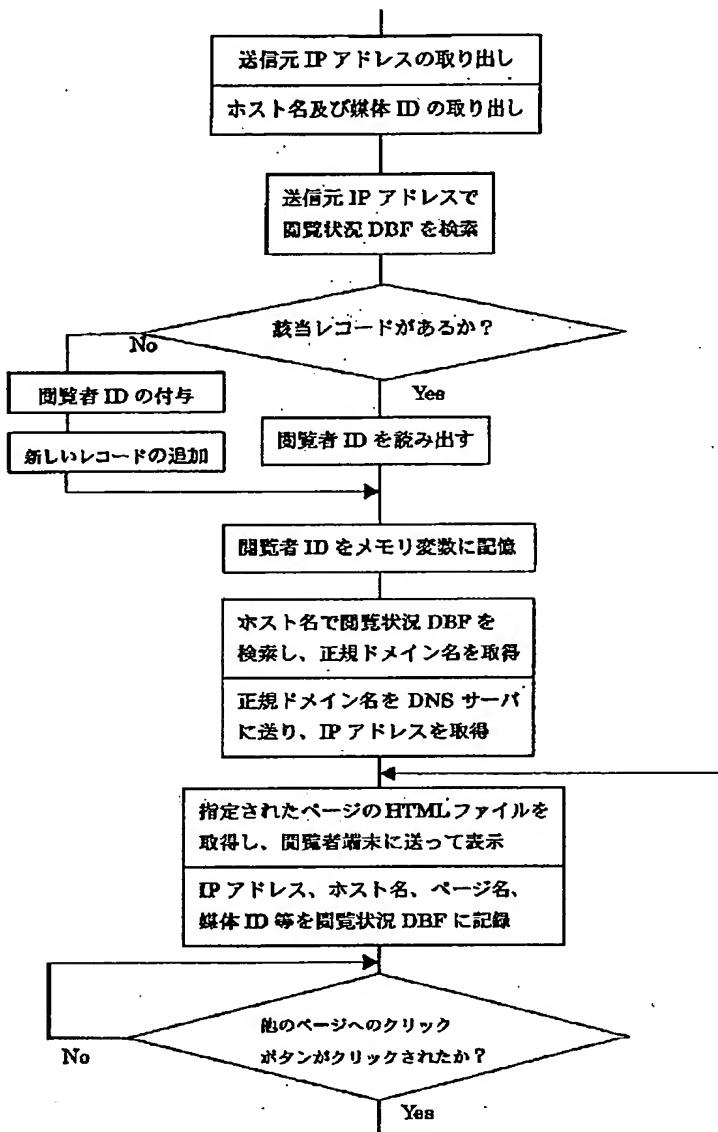
【符号の説明】

- 1 インターネット
- 2 対象サイト
- 3 閲覧者端末
- 4 管理用サーバ
- 5 閲覧状況DBS
- 5.1 閲覧状況DBF
- 6 リンク元サイト
- 7 メールニュース
- 9.1 バナー仲介プログラム
- 9.2 ページ毎集計プログラム
- 9.3 広告効果測定プログラム
- 9.4 メールレスポンス率測定プログラム

【図1】



【図2】



【図3】

ページ毎集計プログラム集計結果 (期間: 2001.8.1~2001.8.31)				
IPアドレス	正規ドメイン名	ページファイル名	ページ名	回数
11.22.33.44	xyzdenki.com	index.htm	トップページ	18
		kaden.htm	家电製品ページ	3
		av.htm	A V製品ページ	7
		pcocom.htm	パソコンページ	5
		keitai.htm	携帯電話ページ	3
	sbc-neto.co.jp	index.htm	トップページ	4
		rv.htm	R V車ページ	2
		sedan.htm	セダン車ページ	1
		sport.htm	スポーツ車ページ	1
18.28.37.46	xyzdenki.com	index.htm	トップページ	5
		pcocom.htm	パソコンページ	3
		keitai.htm	携帯電話ページ	2

【図4】

広告効果測定プログラム集計結果 (期間: 2001.8.1~2001.8.31)				
広告主サイト	広告媒体	媒体ID	アクセス回数	
xyzdenki.com	○○××投票サイト	_ZN_fc1	2598	
	○○ネット(7'DAY'等)	_ZN_fc2	275	

## 【手続補正書】

【提出日】平成13年7月11日(2001.7.1  
1)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】図面

## 【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】

